

## 久村春芳 新理事長が就任

7月31日付で、元日産自動車(株)フェローの久村春芳（くむら はるよし）さんが、当財団理事長に就任されました。久村さんは日産自動車で一貫して研究開発畑を歩まれ、執行役員 総合研究所所長を経て同社フェローを務められました。併せて、久村さんは2009年より当財団に参画され、これまで副理事長として財団経営に携わってこられました。

日産財団はこれより、経験豊富な（典型的）理数系リーダーのもとで益々精力的に、未来を創る子ども達の成長を支援してまいります。

### < 理事長ごあいさつ >

私が理科に興味を持ったのは、小学4年の頃でした。担任の先生は美術がご専門で、生徒にいろいろな機会を与えることを方針とされていました。

先生の勧めで、絵画教室に参加したり新聞委員を担当したりしたのですが長続きせず、ただ一つ化学実験で先生の代理を任されたことは非常に強く心に残りました。

それをきっかけに理科に興味をもち、大学で工学を学び、企業で研究開発の仕事を選択しました。当時、様々な経験を通して自分の進む道を考えさせてくれた先生に、今でも深く感謝しています。

日産財団では、豊かな未来社会を切り開く人、生き生きと活躍する人を育てるために、様々な経験と学びの場を通して子供たちの能力開発に取り組んでまいります。

皆様の温かいご支援を、宜しくお願い申し上げます。



## 令和2年度事業

今年度事業計画は、基本的に昨年度事業方針を踏襲し、新時代の人材育成を探るプログラムを加えました。また、日産ショックとコロナ禍を受けて次年度以降深刻化する財政難に備え出費を抑えながら、以下の事業を展開しています。

### 人材育成事業

- 資金援助 ●理科教育助成：70万円 x 35校
- 褒賞 ●理科教育賞：理科教育大賞 100万円 等
- リカジョ育成賞：グランプリ 20万円 等

- 自主事業 ●未来のリーダー教室：各種セミナー、ワークショップ開催

### 普及啓発事業

- 書籍発行 ●理科教育助成成果本「授業で語るこれからの理科教育」

### 調査研究

- 早稲田大学共同研究 ●未来の教育研究 “Future of Education”
- 日本の企業リーダー研究 “Japanese way”

## コロナ禍中の財団運営

新型コロナウイルスの脅威が長引く中、財団は様々な対策でリスクを低減し、withコロナ時代を先取りした運営に挑戦しています。主な施策は以下です。

- ◆感染防止対策：手指消毒やマスク着用、換気など、神奈川県飲食店向けガイドに準じたルールを設けて、励行中です。
- ◆在宅勤務：出社必須業務を除いて基本在宅勤務とし、個人ごとに在宅計画を立てて実施中です。PC, VPN, Tel転送システムなどインフラを整備し、平均出勤率約は50%程度です。
- ◆リモート会議：Zoom導入し、会議はほぼすべてリモート。理事会等も書面開催で進めています。
- ◆リモートイベント：Zoomのウェビナー機能を使ってフルリモートイベントが可能。リアルでは容易でない700名規模のセミナー実績ができました。